

はじめに

「歴史は変わる」というと奇妙な感じがするが、歴史とは現在と過去との対話であり、その解釈は変わっていくものである。本書では、第一章でニューデールの労働政策、第二章でアメリカ合衆国における国際養子縁組、第三章でアメリカニゼーション、第四章でアメリカ合衆国外交、第五章で吉田茂と憲法問題をケーススタディとして扱っている。各章の執筆者は専門分野の諸学説をある程度詳細に紹介した上で、新しい見解を提示し、歴史を変えようとして試みている。執筆者はアメリカ研究の各々の社会科学系専門分野において最先端でご活躍しておられ、卓越した研究業績をお持ちの専門家であり、その内容は信頼のおけるものである。なお、本書の企画・刊行にあたっては、アメリカ大使館文化交流部から助成金をいただいた。記して感謝申し上げます。また、本書の出版の機会を与えていただいた大
学教育出版の佐藤守社長およびいつも的確な編集作業をして下さる編集部のスタッフにお礼申し上げます。

二〇一四年九月吉日

杉田米行

アメリカ観の変遷 下巻
〔社会科学系〕
目次

2	アメリカニゼーションに関する論争	67
3	受容者利益の観点からみたアメリカニゼーション	71
	おわりに	77

第四章 現代アメリカ合衆国政治外交と国際秩序の変容——「オバマ後」の世界をいかに描くか? …… 島村直幸 …… 81

	はじめに——イデオロギーの分極化	81
1	現代アメリカ合衆国外交の現状——イデオロギーの分極化のインプリケーション	83
2	アメリカ合衆国外交の伝統を振り返る	87
3	二一世紀の国際秩序の四つのシナリオを描く	93
	おわりに——「オバマ後」のアメリカ合衆国外交?	99

第五章 政治指導者としての吉田茂——「解釈改憲」のレールを敷いた人物 …… 浅野一弘 …… 112

	はじめに	112
1	高坂正堯の『宰相 吉田茂』	114
2	吉田と憲法第九条——国会での発言を中心に	119
	おわりに——政治家としての吉田	128

	執筆者紹介 ……	138
--	----------	-----

